

アレルギー性眼疾患を科学する ― 眼のアレルギー対策の常識と非常識 ―

大阪大学大学院医学系研究科 眼免疫再生医学共同研究講座

特任講師 橋田 徳康

炎症には様々な原因・病態があり、眼科における炎症といっても、角膜炎・結膜炎・アレルギー性結膜炎・ぶどう膜炎・網膜血管炎など病態や罹患箇所が異なり、様々なバリエーションがあります。今回、目に関係する話題として、アレルギー性結膜炎や花粉症に伴う眼のかゆみなど、普段からみなさんに馴染みの深いアレルギー性眼疾患について取り上げたいと思います。

本講演では、眼の炎症疾患を専門にする眼科医が炎症・免疫学という観点から、アレルギー性結膜炎をはじめとしたアレルギー性眼疾患を“科学”したいと思います。アレルギー性結膜炎の疾患ガイドライン解説に加えて、「いったいどの薬をいつ使ったらよいのか？」など、数多く市販されている点眼薬の現状とその整理をさせていただきます。アレルギー性結膜炎・アレルギー性鼻炎を中心として、その病態メカニズムを説明し、さらに、耳鼻科領域で盛んに行われている舌下免疫療法のアレルギー性結膜炎における治療選択肢としての可能性を議論してみたいと思います。

最後に、アレルギー性疾患の解明を目指して近年、研究の進捗が著しい免疫研究を通じて明らかになりつつある、最近の免疫学的知見について解説したいと思います。